

地区別計画（協働実行プラン）策定の取組みについて

1 概要

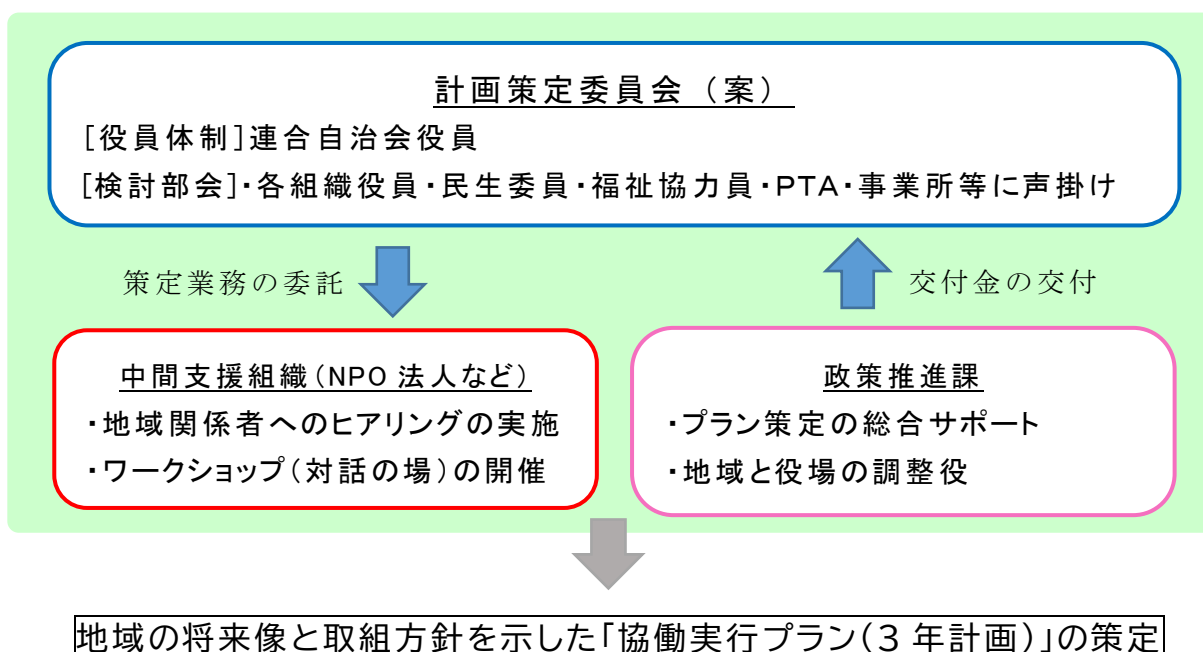
(1) 対象地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内の地区拠点 4 地区のうち安平・遠浅の 2 地区を想定</li> <li>→ 地区の範囲は、<b>連合自治会や小学校区の単位を想定</b></li> </ul>
(2) 主 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の将来像を定め、地域の魅力を活かし、地域の課題を解決するために地域住民が協働して実践できることを盛り込む計画</li> </ul>
(3) 位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域主体の計画であり、第 2 次安平町総合計画と連動し、より地域の実情に合わせたまちづくりを進めるための実行型の計画</li> </ul>
(4) 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域が主体的に取り組む事業を示した計画</li> <li>→ 行政要望を前提とした取組みをとりまとめるものではなく、「<b>地域主体の運営体制に基づく取組みを見える化</b>」するもの</li> <li>・ 町の事業要綱と予算措置に基づく地域が実施主体の取組み</li> </ul>

2 事業内容等

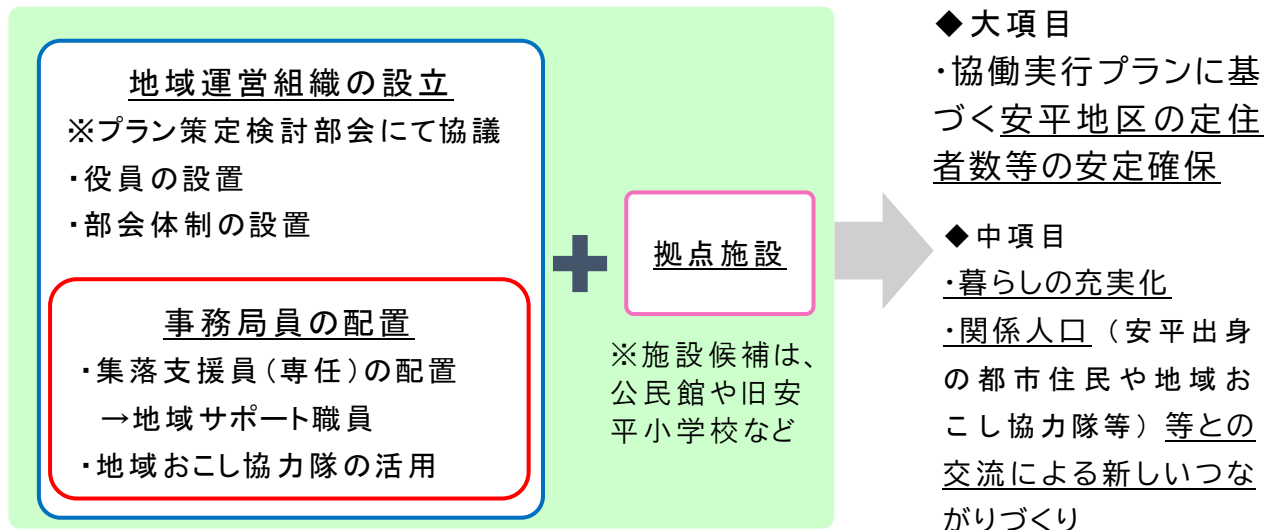
(1) 設立支援 【設立初年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域運営組織の設立準備及び協働実行プラン策定への支援</li> <li>→ 協働実行プランの計画期間は 3 年間を単位</li> <li>・ 1 地区 100 万円×1 年限り [交付率 10 割]</li> </ul>
(2) 活動支援 【2 年目以降】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 策定した協働実行プランに基づく活動への支援(単年度ごと)</li> <li>・ 1 地区 500 万円×3 年間 (プラン期間) [交付率 10 割]</li> </ul>

3 策定体制及び推進体制

(1) 策定体制【設立初年度】のイメージ



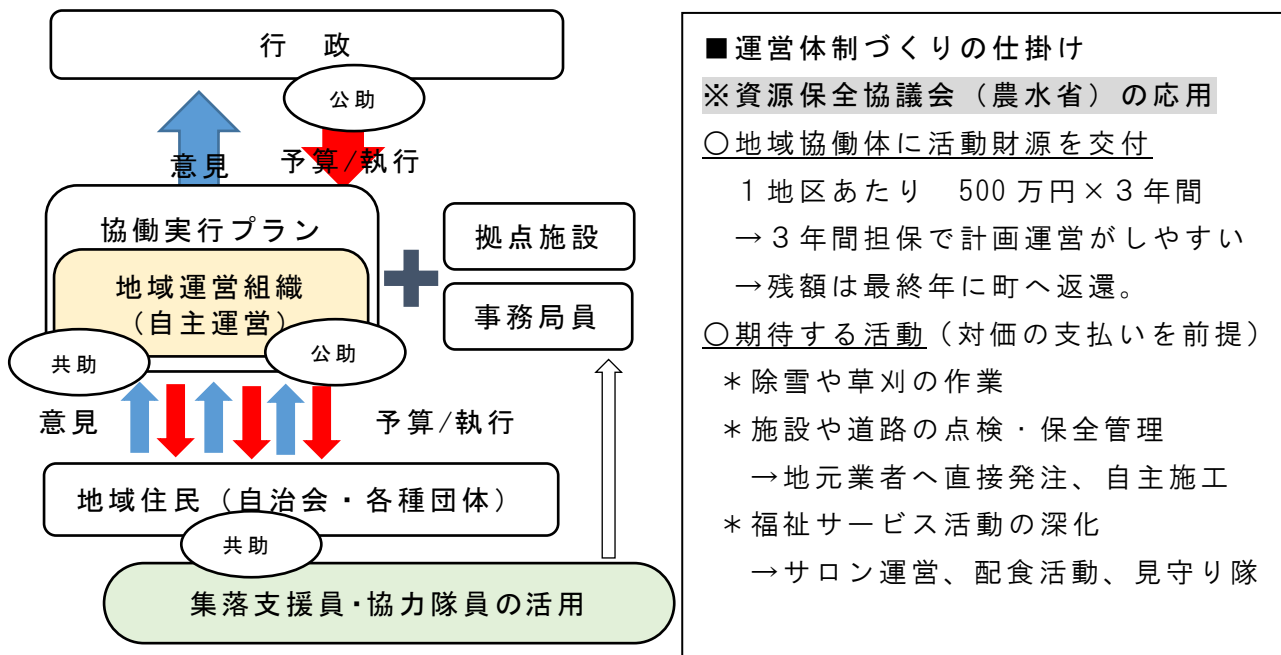
(2) 推進体制【2年目以降】のイメージ



4 地区別計画(協働実行プラン)づくりのポイント

- ◆話し合いの場 …… 組織の構成する団体のフラットな話し合いの場
- ◆活動の拠点 …… 地域公民館、廃校、空き店舗等の活用(常設スタッフ)
- ◆地域運営組織の設立 …… 小規模ながらも様々な機能を持った住民自治の仕組み
- ◇コミュニティビジネス …… 地域課題を解決し、活動資金を得る

■地区別計画(協働実行プラン)づくりにより目指す持続的な地域運営のイメージ



#### 4 全体スケジュール

区分	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10
庁内検討 (制度設計等)	庁内検討 (1年)							
1 地区目：安平 (モデル地区)		計画策定 (1年)	活動計画(3年)			活動計画(3年)		
2 地区目：遠浅 (2024年予定)				計画策定 (1年)	活動計画(3年)		活動計画(3年)	
3 地区目 (未定)								

※他地区の具体的な事例となる「モデル地区」を設定し先行運用を開始。

※地域プランに基づく活動計画の実施期間は3年間を基本とする考え方。

#### 5. 補足説明（策定体制【設立初年度】）

◆安平地区別協働実行プラン策定委員会（役員には連合自治会役員があたる）

No.	役職	充て職
1	会長	連合自治会会長
2	副会長	連合自治会副会長
3	理事	(瑞穂) (安平第1) (安平第2) (安平第3) (緑丘)
5	事務局	連合自治会事務局

◆ワークショップ参加対象者 [= プラン策定検討部会（ゆるやかな関係性を重視）]

No.	部会(案)	想定メンバー候補者(案)	人数
1	全体部会	下記の生活福祉部会数名＋交流活性化部会数名＋地区住民（立候補・推薦）等により構成	20名
2	生活福祉部会	民生委員4名、福祉協力員12名、ココ・カラ、地区商工会、安平の郷など	数名
3	交流活性化部会	消防団18名、PTA、リリバレー従業員、ポラーナ、(株)スキット、瀧本産業など	数名